

1988～89年度 R.I.アジア第1・第3ゾーンローターアクト研修会報告

3月4・5日、横浜市で開催されました。

今回のテーマは「夢と希望とそして行動を!!」です。

式典の時、各地区代表が地区の旗（無い所は自分の所属クラブの旗）を持って入場をしました。式典に続きシンポジウムが行われ、パネラーとして第262地区ローターアクト1987～'88年度地区代表の岡本美奈子さん、テーマ「第259・262地区合同“アクトの日”“海外研修”について」、第279地区ローターアクト1988～'89年度地区代表の岡田典久君、テーマ「全国縦断ポリオ・プラスキャンペーンについて」、第279地区ローターアクト1987～'88年度地区代表の木村 憲君、テーマ「国際ロータリー・ローターアクト委員の役割について」、第258地区ローターアクト1986～'87年度地区代表の栗原芳男君、テーマ「インターローター'87について」の4人でした。

内容は、岡本さんが過去第259地区と第262地区が同地区だったため、たまに合同で行事をと計画、ガバナーに連絡し承認をもらい行った。その時の反省に我が地区でも問題になっているアクターの移動の時の保険が話されておりました。

岡田君は、去年のアジア第1・第3ゾーンローターアクト研修会の時に、全国縦断ポリオ・プラスキャンペーンを行おうと提案し、募金箱と横断幕をたすきに北と南から出発。最初の地区の報告は、第250地区は'88年の10月実施13クラブ中8クラブ協力。その主旨を知ってもらう為、街頭募金を行った。第272地区は、20クラブ中18クラブ参加、ちらしやパンフレットでPRし、バザー、コンサート等を開き協力。その結果は、岡田君の所に連絡し、集計がまとまり次第報告するそうです。

木村くんは、R.I.ローターアクト委員会は、世界6地区の代表とR.C.の3名の委員で組織されており、通信によって報告、連絡、相談が行われている。そして今後のR.A.C.の事総てがこの委員会で話し合われ、1992年に改正されたものが発表される事になっております。なお、ローターアクト・ニュース等、日本語版が出来たそうです。

栗原君は、1987年インター・ローターの世界大会はイギリスで行われ、栗原君が出席その報告をしておりました。世界大会は3年に1度開催され、第1回は1981年ヨハネスブルグで行われ、2回目は1984年メルボルン、3回目はイギリス、4回目は1990年

にオーストラリアで行われます。R.I.・B.I.の会長の承認のもと開催されております。シンポジウム後、懇親会が行われ、ひととき和やかな雰囲気になりました。ただ、長旅の疲れと式典、シンポジウムの長い時間帯で立食パーティは大変つらく、座って食事をとりたかった。

この後、フォーラムが各会場に分かれ開催されました。地区代表の会場では、各クラブの問題点、代表の立場、全国大会の実施の内容の討論を行いました。各クラブの問題点は、どこの地区も会員の増強であり、アクトの活動内容が終始話されました。どの地区も全国レベルの大会を全国大会を開きたい考えのようでした。全国大会は、ガバナーの承認が必要で、その手続きの話し合いが続きました。

2日目は、濤川栄太先生を講師に迎えて記念講演が行われ、テーマは、「若い日本人の心」と題して話されました。教育評論家であり、著書は、『子育てで革命』（創樹社）であり、子育ての問題、今の教育問題、社会福祉の問題を楽しくわかりやすい講演でした。

その後、地区代表会議が行われ、会議の目的は、①各地区の問題討議と現状報告、②ノミニーの顔合わせ、③次年度の為の各地区の情報交換、④ローターアクトの日について、⑤次年度開催地の決定と承認、⑥全国規模の行事、⑦次年度開催地への申しおくり事項、①②③は、前日行われましたので、④⑤⑥が話し合われました。アクトの日の日程は、9月10日。目的は仲間意識の向上と地域へのPR、マスコミ利用、統一テーマで行動する事にしました。が、統一テーマを決めることが出来ず、アクトの日の幹事となる地区、第279地区に決めてもらうことにして、情報交換をすることになりました。

⑤の次年度開催地は、第272地区（熊本・大分）です。

⑥の全国規模の行事は、前日の代表のフォーラム同様、結論が出ないまま時間となりました。

昼食後、閉会式が行われ散会しました。

初めての大きな大会出席で驚きととまどいの連続で大変勉強になりました。エキスカッションを楽しみに参加しましたが、時間の余裕がないため行われず残念でした。

R.I.第251地区 R.A.C.地区代表 中島 久雄
(函館北部 R.A.C.)